

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	海外異文化交流 (留学)	
科目基礎情報							
科目番号		0034		科目区分		専門 / 選択	
授業形態		実験・実習		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		生物応用化学科		対象学年		2	
開設期		集中		週時間数			
教科書/教材							
担当教員		米光 裕					
到達目標							
(1)文化交流を通じて、多様な存在を理解し説明できる。 (2)日本と世界のつながりを深く理解し、行動できる。 (3)異なる文化・民族の人々とのコミュニケーションができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
研修・実習		文化交流を通じて、日本と世界の繋がりを深く理解して行動でき、異なる文化・民族の人々とのコミュニケーションができる。		文化交流を通じて、日本と世界の繋がりを理解して行動でき、異なる文化・民族の人々とのコミュニケーションが概ねできる。		日本と世界の繋がりを理解できず、異なる文化・民族の人々とのコミュニケーションができない。	
成果報告		海外研修の内容をわかりやすく発表できている。		発表内容あるいは発表態度に部分的に不十分な点がみられる。		報告会に参加していない。あるいは発表内容・態度がその体を全く成していない。	
学科の到達目標項目との関係							
D							
教育方法等							
概要		海外留学研修することは、国際性豊かな感性を磨くとともに、幅広い視野から物事を考える習慣を身につける上で、貴重な経験となる。異なる文化の背景をもつ者同士が出合い、交流する際の相互の文化の伝達能力、理解能力、そして調整能力を高める。異なる他者を受入、異文化間での異なることへの寛容性が生まれる。					
授業の進め方・方法		事前学習、海外留学、留学成果報告会での報告の順で実施する。なお、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で海外渡航が不可能となったため、海外留学の部分をオンラインでの交流（研修）で代替する。					
注意点		事前研修10%、海外留学50%、留学成果報告会40%で評価する。ただし、今年度は上記のように海外渡航が不可能となったため、海外留学50%をオンライン交流（研修）で代替する。各項目60点以上で合格とし、評価は「認定」とする。					
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	A. 事前研修 1.書籍、インターネット等による調査 2.語学研修（英語等）			留学にかかる調査及び語学研修を行う。	
		2週	B. 海外留学（30時間以上） 1.オリエンテーション 2.留学先が設定した内容で授業・実験・文化交流・企業見学・ボランティア活動等			多様な存在、日本と世界のつながりを理解し、異なる文化・民族の人々とのコミュニケーションができる。	
		3週	C. 留学研修終了後（学内） 1. 成果報告会資料の作成 2. 成果報告会の開催			留学研修の内容を整理して成果報告会で発表する。	
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					

		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	事前研修	海外留学	報告書	留学成果報告会	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	10	50	0	40	0	0	100
基礎的能力	10	50	0	40	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0